



### ◆このテキストの特色◆

- 小学3年生が文章の内容ないようを読みとる練習れんしゅうをするためのテキストです。
- 一続きつづの長い文章を2つに分けて読みとりの練習をするため、長い文章を読む力を無理むりなくつけることができます。
- 文章のはじめにしめしてある「ねらい」に注意しながら読んでみましょう。
- 漢字かんじやことばの練習ができるように、「ドリル」がついています。



## もくじ

10	漢字とことばのまとめ	38
9	詩を味わおう	34
8	説明文を読もう(4)	30
7	説明文を読もう(3)	26
6	説明文を読もう(2)	22
5	説明文を読もう(1)	18
4	物語を読もう(4)	14
3	物語を読もう(3)	10
2	物語を読もう(2)	6
1	物語を読もう(1)	2

# 3

## 物語を読もう

(3)

### ●主人公の人物像をつかもう

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

5

本文

問一 — 線①「太郎っていい名だな、とだれもがいう」とありますが、太郎の「とうさん」は、「太郎」という名がどうだからい  
いと言っていますか。文章中から十二字で書きぬいて答えなさい。


問二 — 線②「いつも、ひとりでぼつんとしている」のは、太郎  
がどのような性格せいかくだからですか。太郎の性格をもっともよく表し  
ていることばを、文章中から七字で書きぬいて答えなさい。


問三 — 線③「太郎がすきなのは、海だった」とありますが、太  
郎はなぜ海がすきなのですか。次からえらび、記号を○でかこみ  
なさい。

- ア 太郎の家からは、海が遠く海をながめることがあまりできな  
かったから。
- イ 海をながめているだけで心がひろびろとしたり、元気がわい  
たりするから。
- ウ 海べににいる生きものをつかまえてあそぶことがとても楽

しかったから。

エ 海は太郎のどんなねがいで、きいてくれるから。

問四  A・B にあてはまることばをそれぞれ次からえらび、  
記号で答えなさい。

- ア むつと
- イ ふわつと
- ウ ぼうつと
- エ きゅつと

A

B

問五 — 線④「太郎はかけだしていった」とありますが、このと  
きの太郎の気持ちとしてもっともふさわしいものを次からえらび、  
記号を○でかこみなさい。

- ア 海をながめているうちにあたたかい気持ちになり、幸せをか  
みしめている。
- イ 海べにだれもないために思うぞんぶん走れると思い、うれ  
しくなっている。
- ウ 海と空をながめているうちに自分にはらが立って、なさけな  
くなっている。
- エ 海と空のとくべつにうつくしい風景ふうけいに心から感動かんどうし、こうふん  
している。

## ●物語の流れに注意して読もう

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

# 本文

15

# 本文

30

25

20

問一 — 線①「いる」と同じ意味で使われているのは、次のうちの「いる」のどれですか。二つえらび、記号を○でかこみなさい。

ア 向こうの森にはタヌキがいる。

イ だれかがぼくを大声でよんでいる。

ウ かれに注意するのはとても勇気がいる。

エ わたしには一人の兄と二人の妹がいる。

オ この橋をわたるには通行料金がいる。

問二 — 線②「せっせと」は、どのようなようすを表していますか。次からえらび、記号を○でかこみなさい。

- ア しっぱいしないようにしんちように行くようす。
- イ あちこち走りまわりながらあわてて行くようす。
- ウ 休まないでいっしょうけんめいに行くようす。
- エ 体がつかれないようにのんびりと言うようす。

問三 — 線③「太郎はおどろいて」とありますが、なぜおどろいたのですか。次の文の□にあてはまることばを、文章から書きぬいて答えなさい。(一マスを一字とします。)

□
□
□

がどこからもなくあ

らわれ、かいだんの上にかけられたから。

問四 □ A・Bには、どのようなことばを入れたらよいですか。

それぞれ次からえらび、記号で答えなさい。

- ア かんたんにつくれるよ
- イ ぼくのかいだんに、だまっつてのつかるなんて、だれだ!
- ウ きみはいつたいどこからやってきたの?
- エ 女の子にはむりだよ……

A

B

問五 — 線④「じいっとにらんでやる」とありますが、太郎はどのような気持ちでいるのですか。次からえらび、記号を○でかこみなさい。

- ア よろこんでいる
- イ こわがっている
- ウ おこっている
- エ 悲<sup>かな</sup>しんでいる

① 次の漢字の画数を、書きなさい。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
近	紙	考	水	子
( )	( )	( )	( )	( )
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
数	歌	聞	引	虫
( )	( )	( )	( )	( )

# 6

## 説明文を読もう (2)

⑦ **じゆんあざむいじつばい**に**ちゆい**しながら**よも**じ

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

15

10

5

本文

35

30

# 本文

問一 — 線①「たね」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 土にアサガオのたねをまくとき、どんなたねをまきますか。次の  にあてはまることばを、文章中から三字で書きぬいて答えなさい。

、よいたね。

- (2) 土にまいたたねをねむりからさませるためには、どうしなければなりませんか。次からえらび、記号を○でかこみなさい。

- ア まいたたねに、かるく土をかぶせる。
- イ まいたたねの上から、水をまいてやる。
- ウ たねをまくとき、ひとつぶずつおとす。

問二 — 線②「これ」がさすものは何ですか。次の  にあて

はまることばを、文章中から四字で書きぬいて答えなさい。

たねから地ちゅううのびている

問三 — 線③「根毛」について、次の問いに答えなさい。

- (1) 根毛はどこから、どのようなものとしてえていますか。文章中のことばを使って書きなさい。

どこから……………

どのようなもの……………

- (2) 根毛のやくめは何ですか。次の  にあてはまることばを、文章中から書きぬいて答えなさい。(一マスを一字とします。)

そだつのにたいせつな

と、それにとけている

をすいこんでいる。

問四 — 線④「ふしぎですね」とありますが、何がふしぎなので

すか。次からえらび、記号を○でかこみなさい。

- ア 根毛がはえていること。
- イ 根毛がよわわしいこと。
- ウ 根毛がかたい土をおしのけていること。
- エ よう分が根をとおって、ぜんたいにゆきわたること。

● **結論**をしっかりと読みとろう

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

15

10

5

本文

25

20

# 本文

問一 むかし、アサガオのたねは、何にやくだつものとしてつたえられましたか。文章中から三字で書きぬいて答えなさい。


問二 アサガオの花は、もとはどんな色をしていましたか。文章中のことばを使って書きなさい。

--

問三 アサガオのなかまの植物しよくぶつを二つ書きなさい。

--	--

問四 アサガオのつるは、支えとなるたての棒が近くにないと、どうしますか。文章中のことばを使って書きなさい。

--

## ドリル⑥

① 次の各組の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

(1) ① ぼくとかれは気がアう。  
② 町で先生とばったりアう。

(2) ① リヨウシンがいたむ。  
② リヨウシンをしようかいする。

(3) ① ふるさにカエる。  
② 声がひっくりカエる。

(4) ① 空がアカるくなる。  
② 顔がアカらむ。

(5) ① 空中で体をカイテンさせる。  
② 新しい本屋がカイテンする。

(6) ① ナイフで指をキる。  
② 新しい服さむをキる。

# 前講座

# 前講座

3

物語を読もう(3)

(10～13ページ)

- 1 問一さっぱりしていて男らしい 問二はずかしがりや 問三イ  
問四 A ウ B エ 問五 エ

解説

# 解説

2 問一ウ・オ 問二ウ 問三小さな足 問四Aイ Bエ 問五ウ

# 解説

# 次講座

## ほ習②

★次の部首を覚えましょう。

扌(てへん) / 扌(ぎょうにんべん) / 扌(しめすへん) / 扌  
 (のぎへん) / 糸(いとへん) / 扌(りっしんべん) / 扌(にす  
 い) / 冫(こぎとへん) / 冫(かくしがまえ) / 冫(おおざと) /  
 一(なべぶた) / 一(うかんむり) / 一(わかんむり) / 一(まだれ)

## ドリル③

- ① (1) 3 (2) 6 (3) 4 (4) 4 (5) 6 (6) 14 (7) 10 (8) 14 (9) 7 (10) 13

# 解説

# 前講座

6

説明文を読もう (2)

(22～25ページ)

1 問一(1)かたい 問二(1)どここから…太い根  
から、どのようなもの…毛のようなもの  
(2)水分・よう分 問四ウ

# 解説

2 問一くすり 問二うすい青い色(うす青色) 問三ヒルガオ・  
サツマイモ 問四地面をはって支えのものをさがし、その支えに  
まきつけて上にする。

# 解説

# 次講座

# 解説

## ドリル⑥

- ① (1)①合(う) (2)②会(う) (2)①良心 (2)②両親 (3)①帰(る)  
②返(る) (4)①明(るく) ②赤(らむ) (5)①回(る) ②開(る)  
(6)①切(る) ②着(る)

# 次講座